

警察署協議会会議録

筑紫野警察署協議会

開催年月日時	令和6年2月15日 午後4時30分 から 令和6年2月15日 午後5時45分 まで	
開催場所	筑紫野警察署会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9人
	警察署	署長、刑事管理官、総務第一課長、 総務第二課長、生活安全課長、地域課長、 刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、 警備課長、事務局
議事概要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日はご多忙の中お集まり頂き、感謝申し上げます。 警察署の皆様におかれては、年末年始の太宰府天満宮雑踏警戒でご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。 ○ 新年早々、全国では能登半島地震や航空機事故が立て続けに発生して心を痛めているところである。 能登半島地震では、福岡県警の広域緊急援助隊員約80名が、人命は72時間を過ぎれば生存率が急激に低くなるという状況の中で、地元の方からの熱心な聞き込み等を行い1件の行方不明者の情報をつかんで124時間ぶりに90代の女性を救出したことが大きく報道されていた。まさしく福岡県警の底力を感じた次第である。 ○ また、他県においては女子高生が数キロにわたって車に引きずられ、亡くなるという痛ましい交通事故も発生している。 先日実施された会長連絡協議会に出席したが、福岡県は未だに飲酒運転が減少しないということが話題に上がっていた。 「土地柄」では済まされない問題であり、協議会委員としても何とか防いでいかなくてはならないという思いでいっぱいである。 ○ 今年度最後の協議会になるが、来年度も平穏な1年で締めくくることができるよう、筑紫野警察署協議会として地道に活動を続けていこうと考えているので、どうぞよろしく願います。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日はご多忙の中、警察署協議会にご出席頂き、御礼を申し上げます。 		

様式第3号(第5、第6の1、第6の2関係)(その2)

議 事 概 要

今年は元旦から能登半島で大規模地震が発生し多くの方が犠牲となられ、未だ多くの方が避難生活を余儀なくされている。

本県の警察職員も現地に派遣され、様々な援助活動等を行っている。

- 年末年始における太宰府天満宮の初詣警戒では、大晦日から年越しは、雨の影響もあり出足が鈍ったが、その後は平常の3倍程度の人出があったと聞いており、各方面からご協力を頂き無事に終了することができた。
- 昨年から県下において多発する交通事故については、今年に入ってもその勢いは止まらず昨年を上回るペースで発生している。

また、匿名・流動型犯罪グループという新しい形の犯罪グループが台頭し、高齢者をターゲットにニセ電話詐欺等の犯罪を敢行しており、その被害も拡大している。

当署では、これら治安課題に対して署員一丸となって取り組んでいるところである。

本日は委員の皆様の忌憚のない意見を聞かせて頂き、業務に反映させていくので、どうぞよろしく願います。

【報告事項等】

- 1 令和5年中治安情勢報告について
 - (1) 犯罪抑止対策について・・・生活安全課長
 - ・ 刑法犯認知件数等
 - (2) 重要凶悪事件、性犯罪及び窃盗等事件について・・・刑事第一課長
 - (3) ニセ電話詐欺・暴力団関係・薬物関係について・・・刑事第二課長
 - (4) 交通事故情勢について・・・交通課長
 - ・ 交通事故発生状況
 - ・ 飲酒運転の検挙状況
- 2 ニセ電話詐欺防止について(DVD視聴)

【質疑応答等】

- 空き家に対する空き巣事件について

委員から「昨年末に、空き家に対する空き巣事件が、太宰府市・筑紫野市で集中し、青パトの活動をしている我々にもパトロール強化の依頼があった。これら事件の犯人は逮捕できたのか」旨の質疑があった。

刑事第一課長から「令和5年中に発生していた一連の空き巣事件の被疑者は逮捕している。ただし、別の人物による空き家を対象とした空き巣の犯行が発生しており、継続して捜査に当たっている」旨の回答があった。

会長から「犯人から見て、空き家ということはすぐにわかるものなのか」との質疑があり、刑事第一課長から「雨戸が閉まっており、庭の草木が生い茂っている状態などで判断をしている。両親が亡くなったり、高齢者施設に入居するなどして、空き家となっている場合は、空き巣被害が発生しても、被害品を子供が把握できない場合も多くあり、捜査が難航する一つの要因と

様式第3号(第5、第6の1、第6の2関係)(その2)

議 事 概 要

なっている。空き家についての情報提供や、不審人物等を見かけた際は通報の協力をお願いする。」旨の回答があった。

○ 自転車盗、万引きについて

委員から「自転車盗や万引きの発生が多いが、犯人は地元の者が多いのか」、「管内の犯罪発生件数は他地域に比べて多いのか」旨の質疑があり、刑事第一課長から「自転車盗や万引きの被疑者はほぼ地元の者であるが、春日市や久留米市等の近隣居住の者が地元での犯行を避けて、筑紫野・太宰府で犯行に及ぶ場合もある」、「昨年の福岡県内の犯罪発生件数は前年を上回っており、当署管内でも例外ではない。ただし管内の犯罪発生件数が他の地域と比べ、突出している状況ではない」旨の回答があった。

また、署長から「犯罪の発生件数は、県内の中では少ない方ではないが、殺人などの凶悪事件の発生はなく、治安的には安定している状態である」旨の回答があった。

○ 侵入犯罪の検挙率及び、高齢者による万引きの増加について

委員から「侵入盗の発生件数に対し、検挙率が高いが、何か効果的な対策があったのか」旨の質疑があり、刑事第一課長から「初動捜査により容疑者を浮上させ早期逮捕に至っている。中でも防犯カメラは大きな力となっており、当署の検挙率が高い」旨の回答があった。

また、同委員から「高齢者の万引きが増加しているが、犯行の理由は何か」旨の質疑があり、刑事第一課長から「十分に支払えるお金を持っているが、自分のお金を使いたくないという気持ちから安易に万引きをする高齢者が多い。または万引きをするクセがついていて犯行を繰り返す者も多い」旨の回答があった。

○ ニセ電話詐欺について

委員から「ニセ電話詐欺の犯人は捕まえにくいのか」との質疑があり、刑事第二課長から「特に電話を利用してお金を振り込ませたり、電子マネーを買わせたりしてお金を騙し取る架空料金詐欺は、非接触型の犯罪といわれ証拠が残りにくい、数少ない証拠から何とか犯人にたどりつくよう鋭意捜査をしている」旨の回答があった。

○ クレジットカードの不正利用について

委員から「妻がクレジットカードの不正利用の被害にあったが、カード会社から保証してもらったので、被害届は出していない。このような場合どのように対応しているのか」旨の質疑があり、生活安全課長から「まずは、警察に相談していただきたい。また今回のように併せてカード会社にも連絡して状況を説明すれば、カード会社が被害弁償をすることが多い」旨の回答があった。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

○ 交差点の交通事故の発生について

委員から「針摺交差点は交通事故の発生が多いが、特殊な交差点なのか」旨の質疑があり、署長から「変則の五差路となっており、特に右折する際の見通しが悪く、右折と直進の事故が多いのが特徴である」旨の回答があった。

【閉会】

以上で、令和5年度第4回筑紫野警察署協議会を閉会する。